

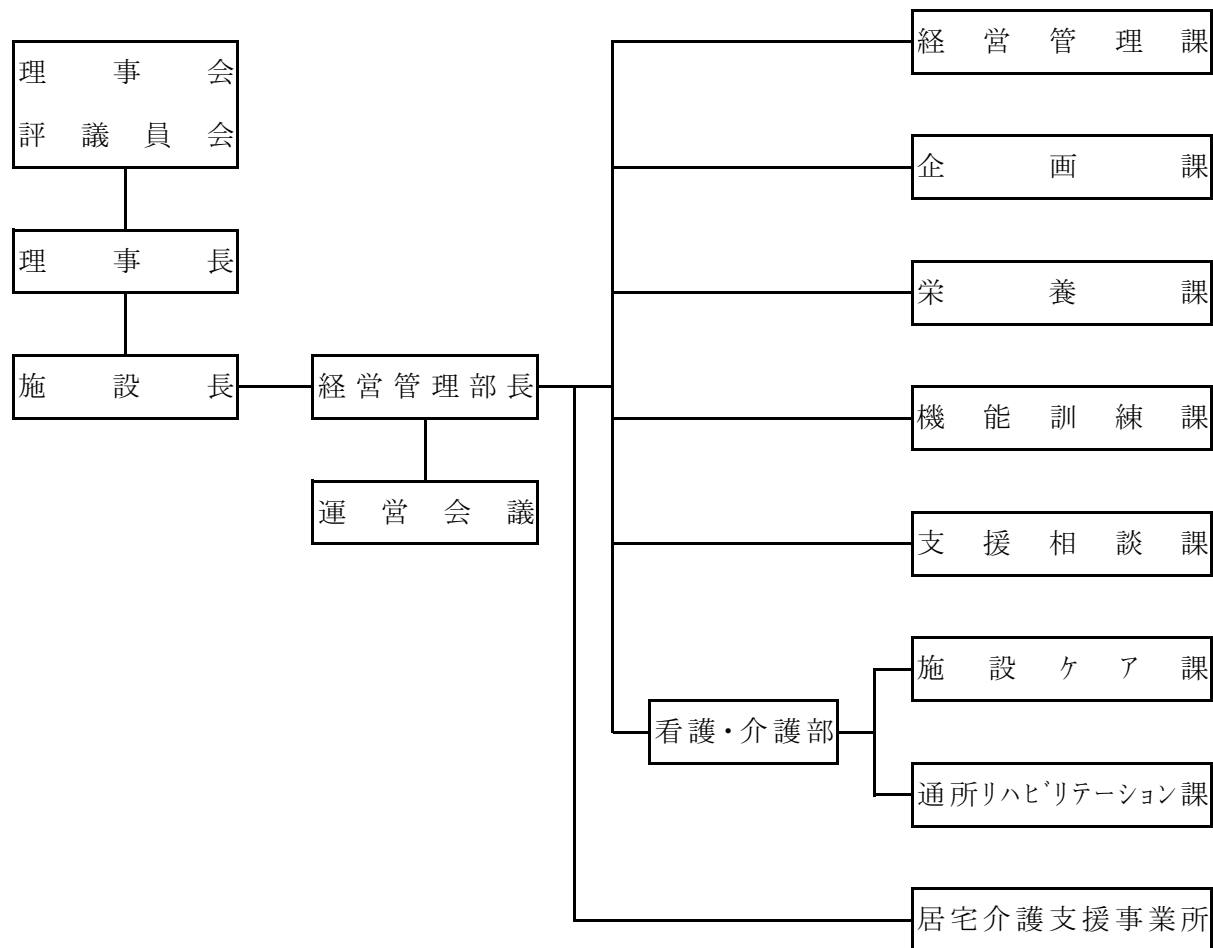
# コミュニティホーム八雲

## 〔Ⅰ〕施設機構

### 1. 現 況

名 称	介護老人保健施設 コミュニティホーム八雲
開 設 年 月 日	1998年4月28日
所 在 地	二海郡八雲町栄町13番地1
事 業 の 種 類	介護老人保健施設
事業内容及び付帯事業	①入所 ②短期入所療養介護 ③通所リハビリテーション ④居宅介護支援
施 設 定 員	施設入所 90名(短期入所療養介護含) 通所リハビリテーション 40名
療 養 室 構 成	4人部屋・・・20室 1人部屋・・・10室

## 2. 組織図



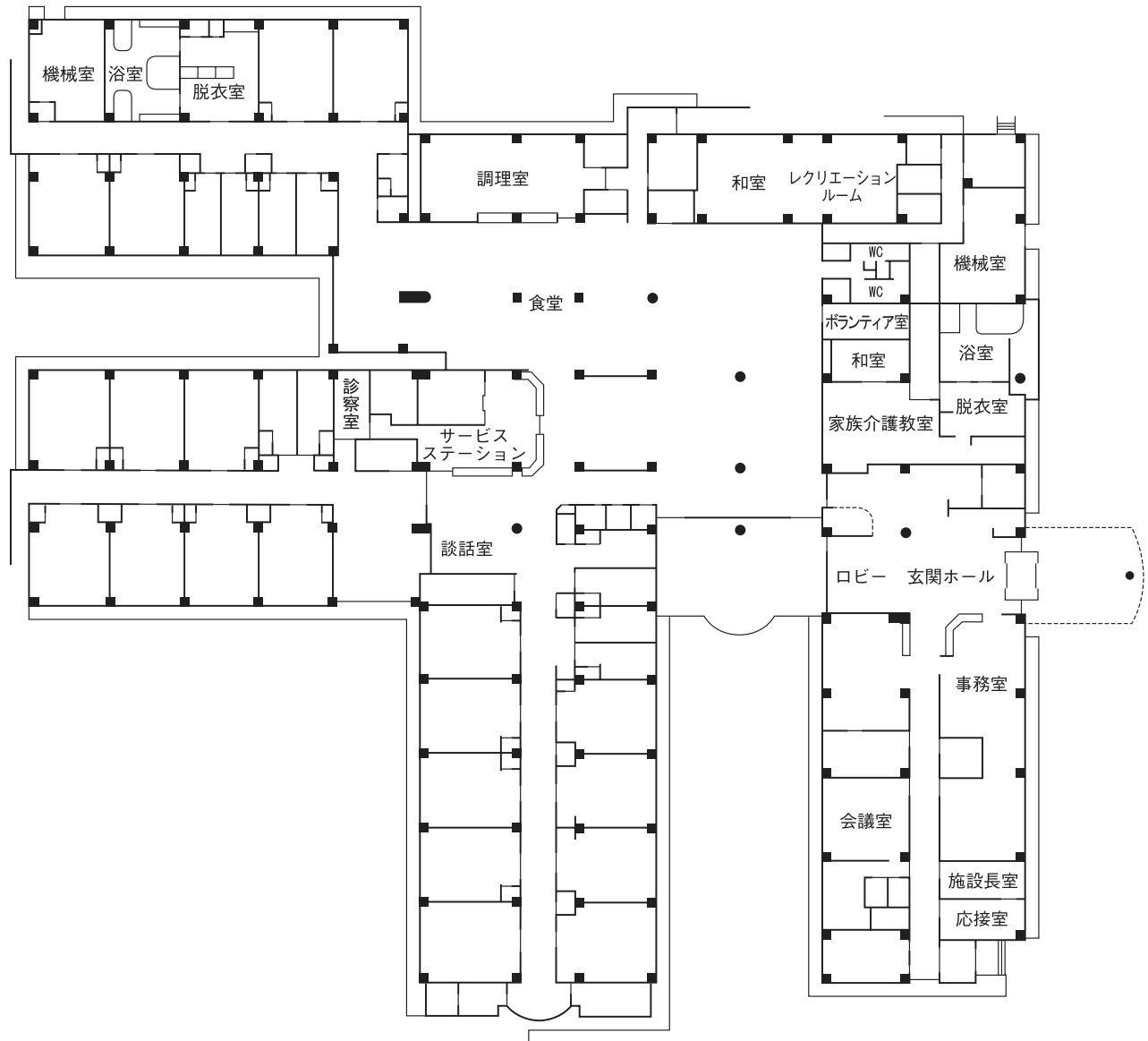
### 3. 諸会議・委員会

会議名	開催月	会議内容	参加者
施設運営会議	月1回	施設の運営上の諸問題について会議 施設の最高意思決定機関	主任以上全職種
判定会議	月2回	入退所判定・3ヶ月判定等	医師・相談員・看護師・ 介護員・栄養士・療法士
給食会議	月1回	献立の内容等の検討・反省、行事食の検討等	全職種
行事委員会	月1回	各種行事の計画・反省等	全職種
施設ケア課全体会議	不定期	看護・介護職員の業務に関する事項	施設ケア課の全職員
事故対策委員会	月1回	事故・拘束に関する事項	看護師・介護員・相談員
苦情処理委員会	不定期	苦情等・サービスに関する事項	全職種
施設内サービス担当者会議	月1回	入所者のサービス内容の検討	全職種

## 〔Ⅱ〕建物概要

### 建物の概要

建物構造	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建
建物延面積	4,441.03㎡
敷地面積	9,382.72㎡（八雲町有財産借受）



## 2006年度 事業報告

コミュニティホーム八雲

### 【入所：定員90名（短期療養含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>32,485 人</u>	<u>32,249 人</u>
一日平均入所者数	<u>89.0 人</u>	<u>88.4 人</u>
入所待機者	<u>18 人</u> （3月末現在）	
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.8</u> （短期療養除く）	
協力医療機関	： <u>1. 八雲総合病院</u>	
	： <u>2. ヤクモ歯科クリニック</u>	
	： <u>3. _____</u>	

### 【通所リハビリテーション：定員40名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>7,725 人</u>	<u>6,572 人</u>
一日平均利用者数	<u>25.0 人</u>	<u>21.3 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.1</u> （要支援1・2を除く）	

**【居宅介護支援】**

	目 標	実 績
延作成件数	<u>720 件</u>	<u>729 件</u>
(うち介護予防)		<u>0 件</u>

要介護度状況 : 平均要介護度 1.8 (要支援1・2を除く)

**【在宅介護支援センター】※2006年度をもって事業廃止**

延相談件数 162 件

相談内容 (重複有)

介護保険制度 : 117件 権利擁護 : 0件 高齢者虐待 : 0件  
介護予防 : 0件 その他 : 51件

# 2006 年度 事業計画

## 介護老人保健施設 コミュニティホーム八雲

### 1. 基本方針

CSR（企業の社会的責任）を果たすため、ES「職員満足」・CS「顧客満足」を追求し「一度利用された方が再度指名いただける施設づくり」を目指す。

「コミュニティホーム八雲 3 つの柱」

#### ①日常生活サービス

コミュニティホーム八雲は、利用者の尊厳を重視し、保健・医療・福祉の総合的サービスのもとに療養生活を送ることができるよう援助します。

#### ②在宅生活サービス

コミュニティホーム八雲は、在宅で生活する要介護高齢者及びその家族に対する保健・医療・福祉活動を積極的に推進します。

#### ③地域サービス

コミュニティホーム八雲は、高齢者の住み良い地域社会の環境整備と地域住民の意識向上に貢献します。

### 2. 具体的目標

- ①働きやすい職場環境づくり。
- ②優秀な人材育成と研修の充実
- ③満足いただけるサービスの提供
- ④地域住民及び関係機関との連携強化
- ⑤新規事業への取り組み（小規模多機能型施設等）

#### 【施設ケア課】

##### ●基本方針

CSとESの一体化

##### ●具体的目標

○利用者様・職員共にゆとりある空間作りと楽しい時間の共有

・療養棟活動・行事の改善

療養棟の特徴・目標に沿った企画及び評価と関係・効果を充実させる。

・カンファレンスの改善

各療養棟日誌と合体させ、カンファレンス内容を記載する。

・身体拘束廃止への取り組み

カンファレンスの充実、事故検討委員会と連携し身体拘束減少を図る。

・施設・療養棟行事の一体化を図る

新企画・利用者参加型・施設外行事（地域交流）・評価と関係及び効果を充実させる。

・個別面接・OJT・内部研修の充実

個別面接とOJTを関係させて教育指導し、スタッフのスキルレベルアップを向上させる。

#### 【通所リハビリテーション課】

##### ●基本方針

利用者個々の隠れたニーズを把握し、良質なサービスの提供をする。

##### ●具体的目標

○利用実績 25 名／日の獲得を目指す。

- ・アンケート調査の実施、送迎時の意見収集の情報分析。
- ・事業所と家族間との情報を共有化し利用者個々の機能維持、向上を目指す。

○事故件数 0 件を目指す

- ・リスクチェック表を作成し、利用者のリスク分析を行い事故予防に繋げる。
- ・課員の定期的な勉強会を開催しリスクに対する理解力アップを目指す。

○職員教育

- ・実施要領を年 2 回見直しサービス内容の整合性を確認する。
- ・目標管理制度の活用による責任感、達成感を養いスキルアップを図る。

#### 【機能訓練課】

##### ●基本方針

リハビリ職の専門性を発揮し、生活リハビリの理解とさらなる定着を目指すと共に、レクリエーションを通じても生活意欲・活動意欲の向上へと繋がるリハビリテーションサービスを提供する。

##### ●具体的目標

- ・通所リハビリ利用者の個リハ対象枠を日平均 20 名に拡大し実施していく。
- ・介護報酬等の改定により、加算獲得への対策を検討・実施していく。
- ・施設内研修（機能訓練課主催）の継続（2 回 / 年）と研修後に実務内への活用状況を把握していく。
- ・研修会・講習会への参加と他職員に対しての伝達行為を通じて、技術向上に努める。
- ・個別性を重視した余暇活動の充実を図る。
- ・EMS・QMS の維持。

#### 【支援相談課】

##### ●基本方針

地域の中核施設になるよう、医療・福祉・保健における関係の共有を図り、ソーシャルワーカーへの多様化するニーズに応え、相談窓口として指名してもらえるよう専門性を向上させる。

##### ●具体的目標

○職員教育

- ・医療・福祉・保健全般に対応しえる技量の習得（ソーシャルワーカーとしての質の向上）
- ・円滑な業務遂行のため他部署との連携を強化する。（他部署業務内容を積極的に理解していく）

○業務改善

- ・各事業所との連携並びに共有情報の精度向上のため、パッケージ化（雛型）を立案し実施する。
- ・利用率向上及び新規事業（小規模多機能型等）事業の取組みを推進する上で欠員となっている 1 名の補充時期を検討していく。
- ・QMS・EMS・IMS の維持

#### 【在宅介護支援センター】

##### ●基本方針

在宅で生活する介護が必要な高齢者若しくは介護が必要となるおそれのある高齢者とその家族を中心に、保健・医療・福祉に関する総合的な相談窓口としての機能を強化し、地域住民から信頼され、安心して相談の受けられる支援センターを目指す。

##### ●具体的目標

○介護保険サービス未利用者等に関する実態把握の実施。



○地域活動への積極的な参加と協力。

- ・各町内会総会及びサークル活動への参画
- ・保健、医療、福祉関係機関の開催事業への参画
- ・各種在宅サービスや福祉機器、介護用品についての正しい知識の普及と活用の啓発。

○関係機関との連携強化。

- ・ヘルパー会議等へ参加
- ・困難事例等のソーシャルワーク援助を実施
- ・相談協力員との連携強化
- ・民生委員例会及びブロック会議への参加

○各種研修会等への参加

#### 【居宅介護支援事業所やくも】

##### ●基本方針

要介護状態等になった利用者が、可能な限りその自宅において、必要なサービスを利用しながら安定した生活が営めるよう配慮し、また、職員の資質向上に努め、安定的な運営を目指す。

##### ●具体的目標

- 利用者の意向を踏まえ、自立を促す観点から必要なサービスの調整をし、顧客満足を提供できるように努める。ケース展開上、特に必要と認められる場合は事業所内ケース検討会議を開催し問題解決に当たる。
- 利用者件数 70 名を目標に新規利用者増及び既存の利用者の安定利用への配慮に努める。  
他居宅介護支援事業所及び居宅サービス事業所との連携に努める。  
各種研修会への参加及び事業所内職員間での意識的なケース展開討議にて、職員の資質向上に努める。

#### 【経営管理課】

##### ●基本方針

安定化経営のため、ES「職員満足」・CS「顧客満足」を追求する。

##### ●具体的目標

- BSCの活用
  - ・新規事業の情報収集と立案、予算化（小規模多機能施設の立ち上げ）
- 介護報酬単価アップを目指す。
  - ・加算項目と実作業の整合性の確認
  - ・予実算管理の分析強化
- コストダウン
  - ・時間外勤務の縮減
  - ・委託業者との連携強化と委託費の縮減
- 顧客満足度の把握
  - ・利用者アンケートの実施
  - ・嗜好調査の実施
- 職員満足度の把握
  - ・職員アンケートの実施
  - ・有給休暇消化率の調査と取得内容分析
- 業務改善
  - ・QMS、EMS、IMS、の運用と維持及び見直し。

- ・規定類の見直し及び PC システムの有効活用。

○職員教育

- ・ 溪仁会グループ研修への参加及び業務別勉強会の実施
- ・ 目標管理制度の充実